

第7回「視覚障がい者対応研修」を実施

～ 職員33名が受講 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、2月22日（月）、職員を対象に第7回「視覚障がい者対応研修」を実施しました。

当金庫では、障がいのあるお客さまに安全で安心、そして円滑な取引を行っていただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、視覚障がい者に関する正しい知識を身に付け、ご家族や支援者の活動も併せてサポートし、地域社会に貢献することを目的に、平成27年から本研修を毎年実施しています。

今回は新入職員全員と希望者を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初のオンラインでの実施となりました。当日は、大阪市社会福祉協議会と大阪市福祉教育語りの会から講師を招き、視覚障がい者の思いや接し方、誘導方法のポイント等について、身振りや手振りを交えてわかりやすい説明を受けました。続いて、当金庫事務部の職員による代筆の取り扱い、サインガイドの使用方法、手話でのあいさつの仕方などの研修も実施しました。

今回の受講で得た知識を生かし、障がいのあるお客さまに寄り添い、少しでも安心してお取り引きいただける対応を実践し、お客さまの利便性の向上に努めてまいります。

記

1. 概要

- (1) 実施日 令和3年2月22日（月）
- (2) 受講者数 33名
- (3) 講師
 - ・社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
畑野 千夏 氏
 - ・大阪市福祉教育語りの会
鈴木 昭二 氏、山本 美恵子 氏
 - ・当金庫 事務部 職員

2. 視覚障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の主な取り組み

- (1) 視覚障がい者の代筆・代読の実施とサインガイド(自署いただく箇所がわかる型枠)の設置
- (2) 視覚障がい者対応ATMを設置
- (3) 視覚障がい者用 音声による来店案内システムを導入（一部店舗）
- (4) 点字ブロックの敷設、点字による取引記録明細、満期案内の発行等
- (5) 窓口振込手数料の引き下げ（ATM扱いと同額）



研修の様子



手話でのあいさつ

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

